

第14回千臨技精度管理調査報告会

平成21年5月30日

細胞診検査研究班

平成20年度千臨技精度管理の総括と今後の目標

時田 和也 (JFE健康保険組合川鉄千葉病院)

千臨技細胞診検査研究班精度管理委員

内容

1. 喀痰のパパニコロウ染色標本における細胞判定
2. 喀痰細胞診標本に対するパパニコロウ染色の実施
3. インターネットを利用したフォトサーベイ

参加施設

42施設(1施設については, パパニコロウ染色の実施は不参加)

方法

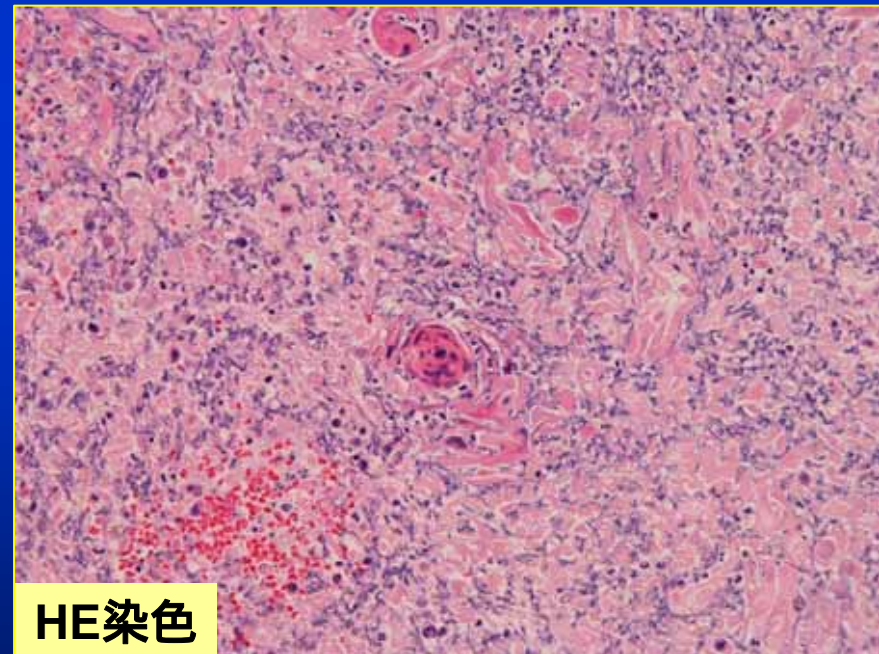
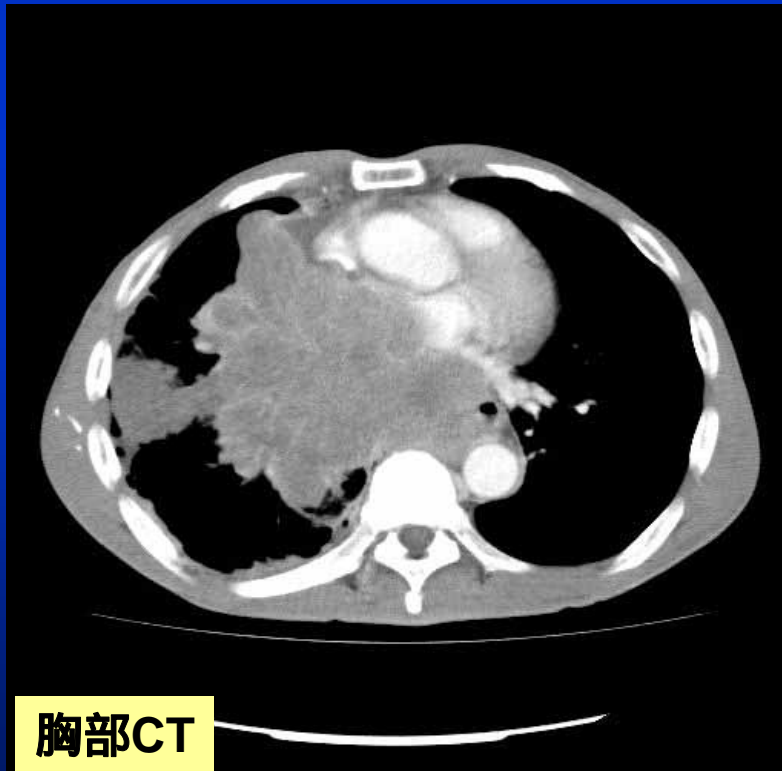
- 1) パパニコロウ染色標本における細胞判定と, パパニコロウの染色性を点数化し, その合計点でA, B, Cの3段階評価を行った.
- 2) フォトサーベイ(同定問題9問, 症例問題1問)に対する解答を点数化し, その合計点でA, B, Cの3段階評価を行った.

標本作製(細胞判定・パパニコロウ染色)に使用した症例

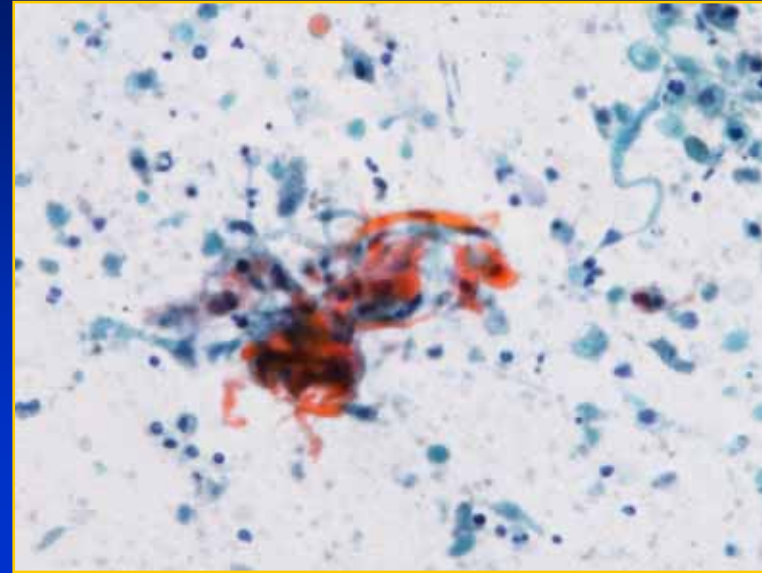
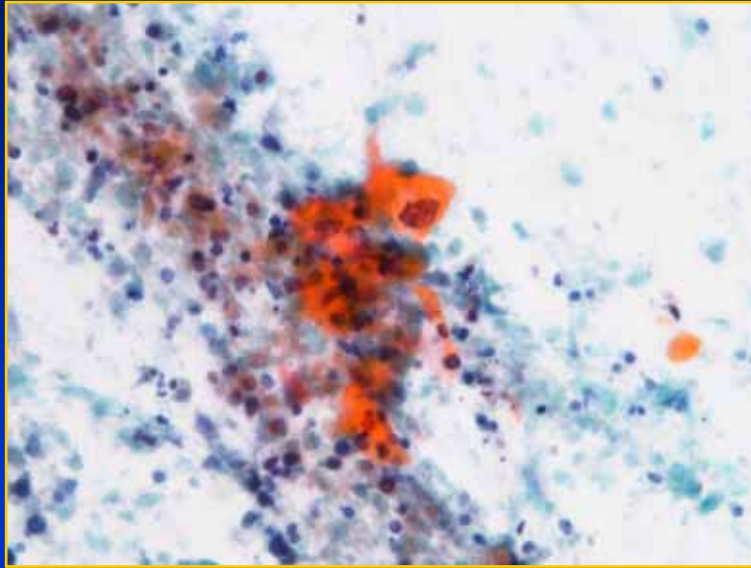
肺癌

Squamous cell carcinoma

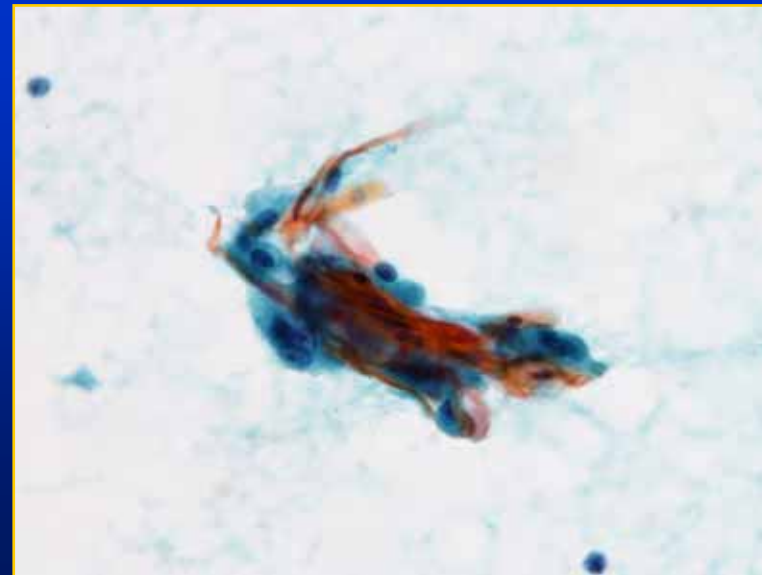
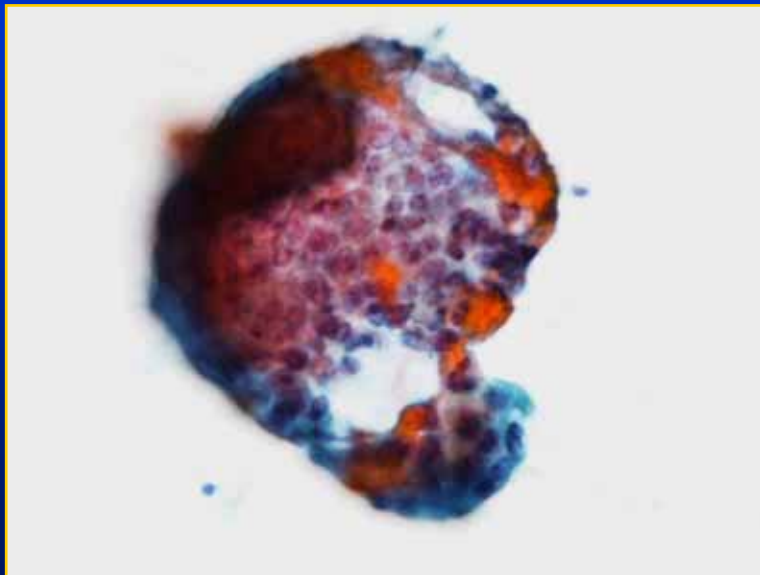
播種性転移: 縦隔リンパ節、頸部リンパ節、左心房など



喀痰細胞診 : class Squamous cell carcinoma



頸部リンパ節穿刺吸引細胞診 : class V Squamous cell carcinoma



パパニコロウ染色標本,細胞判定

評価基準 (推定組織型および細胞所見を重視)

- a. 推定組織型が扁平上皮癌もしくは扁平上皮癌疑いであること
 - b. 上記以外で扁平上皮癌を示唆する所見が記載されていること
- bの場合は細胞所見、標本併せて整合性がとれているかを評価基準とする

評価方法

評価基準aもしくはbの基準を満たしている:2点

減点対象

減点2点:推定組織型が異なる(評価基準a、bどちらとも当てはまらない)

減点1点:評価基準bの場合で標本と細胞所見の整合性がとれていない

細胞判定集計結果

2点 40施設 (97.6%) 1点 0施設 (0%) 0点 1施設 (2.7%)

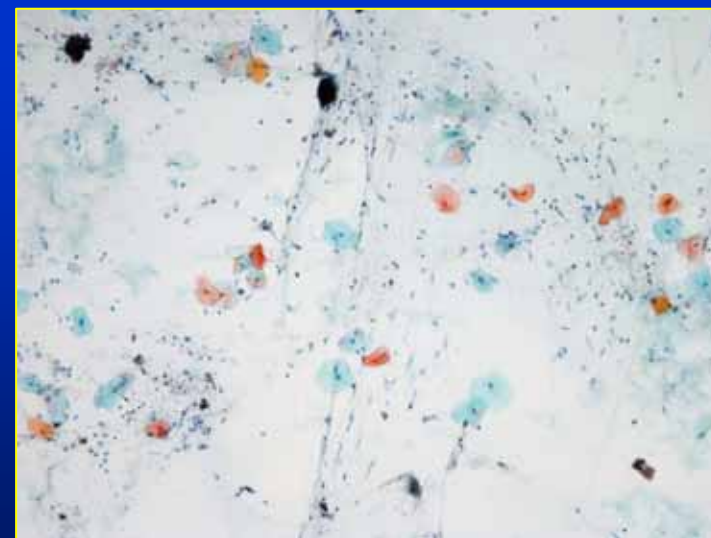
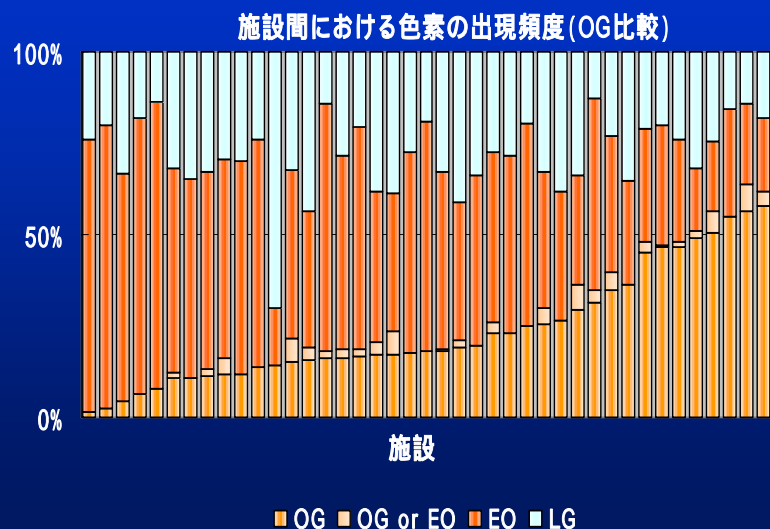
パパニコロウ染色の染色性

評価基準の設定

各施設の標本中の表層型扁平上皮の細胞質を4種類の色調に分類し、200個カウントした。それらの結果より施設のパパニコロウ染色の各色素の強さを調査した。併せて精度管理委員の鏡検による各色素の強さを評価も行った。

評価基準

パパニコロウ染色で用いられる色素ヘマトキシリン(HE)、オレンジG(OG)、エオジン(EO)、ライトグリーン(LG)の染色性



評価方法

- ・各色素が適正に染色されていること。
適正とは各色素が、過不足なく認められる標本とした。
- ・精度管理委員の鏡検(色素の強弱の判定)とカウント集計により評価した。
**ヘマトキシリンについては、精度管理委員の鏡検の評価のみ
- ・色素は各2点4種類、合計8点で評価する。

減点対象(各色素について)

減点2点:色素が認められない

減点1点:色素の出現頻度が少ないもしくは多い

染色性の評価結果

8点 38施設(93%)

7点 3施設(7%) OGの少ない施設:2施設 LGの多い施設:1施設

細胞判定・パパニコロウ染色総合評価

A, B, Cの3段階評価

細胞判定とパパニコロウ染色の評価点の合計で評価される

評価A:10・9・点, 評価B:8・7・6点, 評価C:5点以下

評価A:40施設(98%)

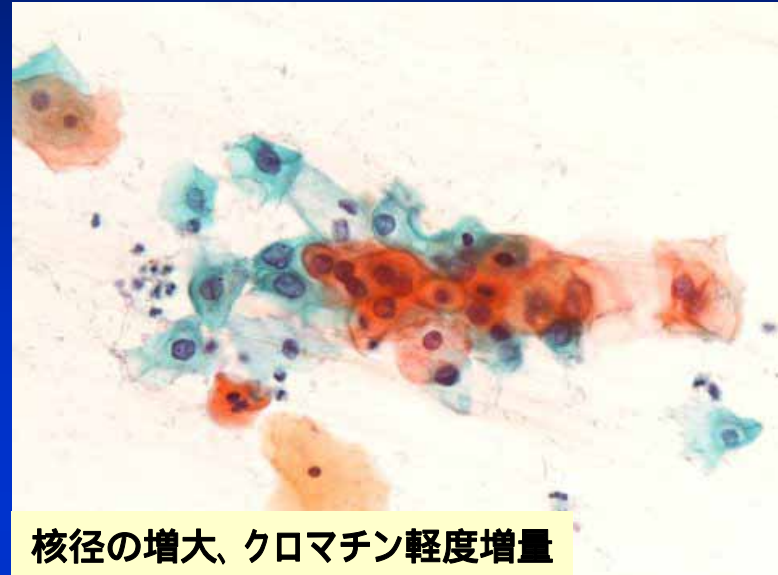
評価B:1施設(2%)

評価C:なし

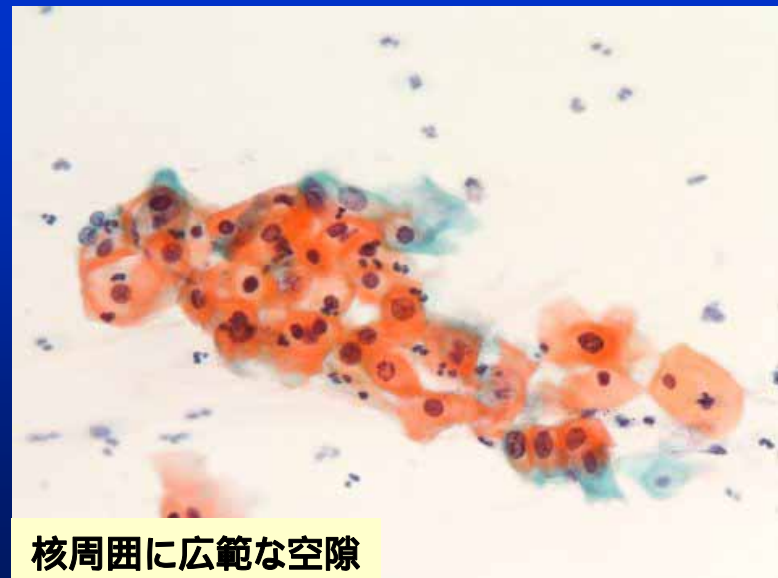
フォトサーベイ

【問題1】 43歳, 女性, 子宮膣部

解答; 3 HPV感染細胞 正解率100%



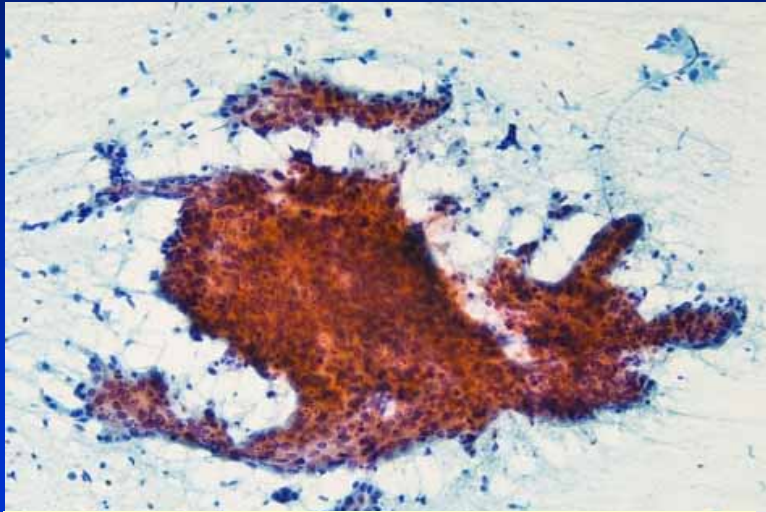
核径の増大、クロマチン軽度増量



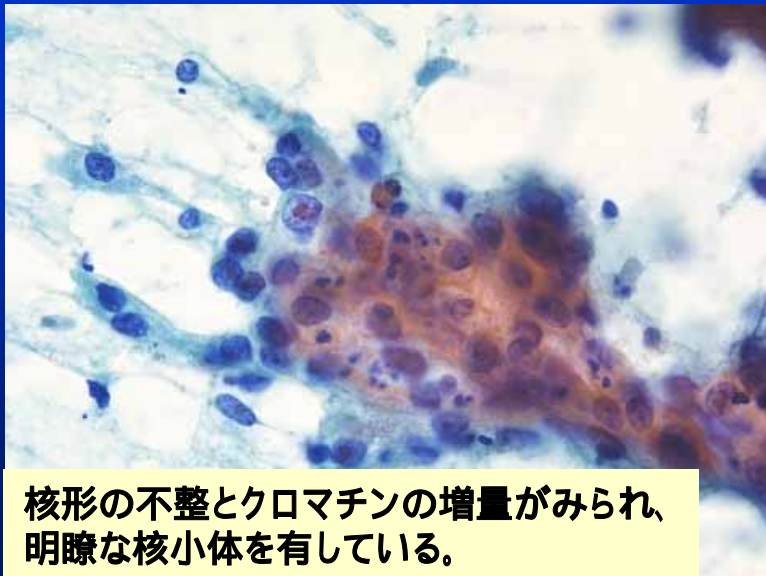
核周囲に広範な空隙

【問題2】 61歳, 女性, 子宮内膜擦過

解答: 4 類内膜腺癌 (正解率 92.8%)



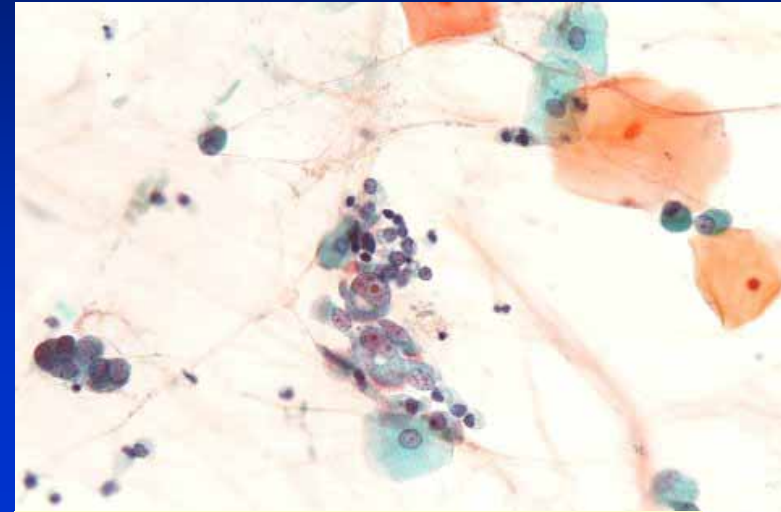
不整重積と乳頭状構造を示す大型の集塊



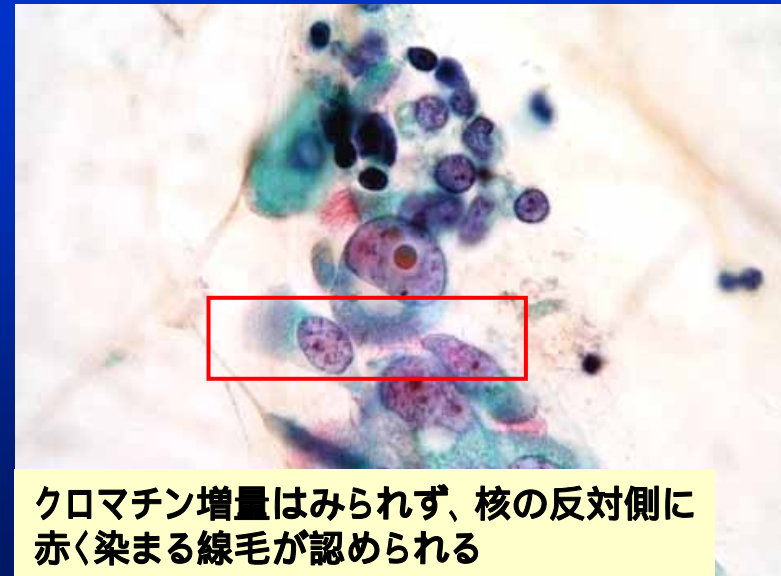
核形の不整とクロマチンの増量がみられ、明瞭な核小体を有している。

【問題3】 58歳, 男性, 喀痰

解答: 1 線毛円柱上皮 (正解率 81%)



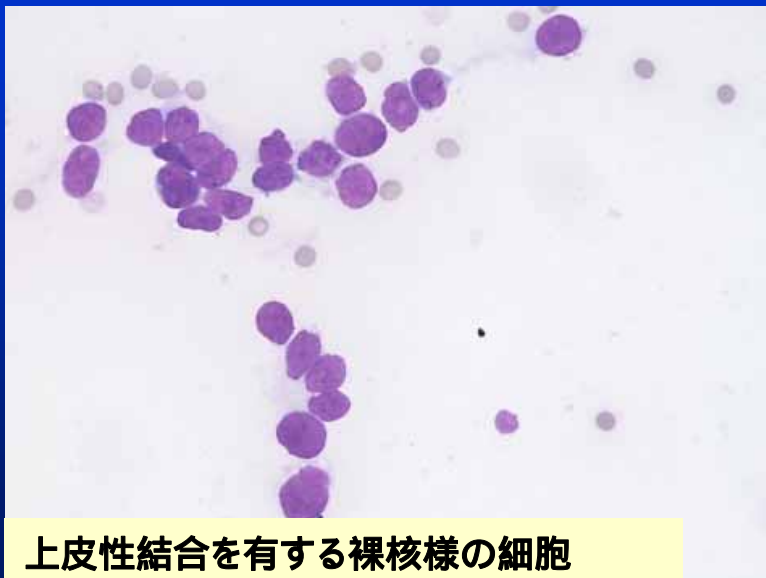
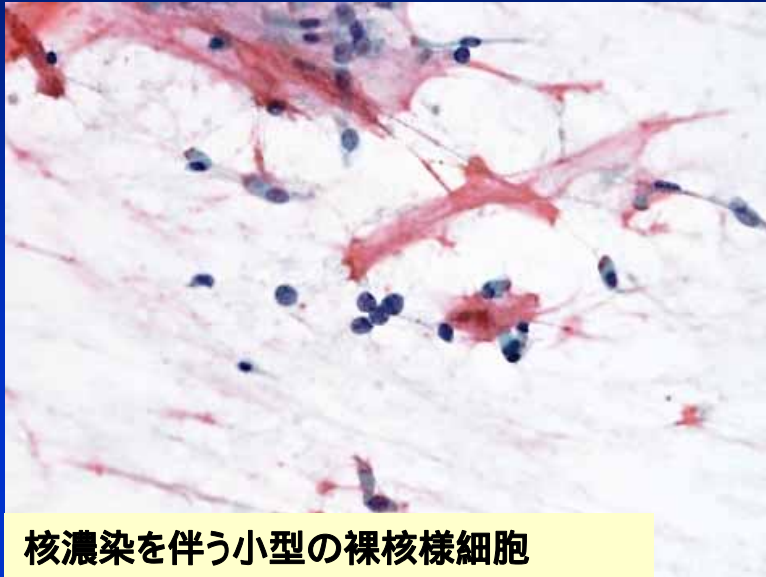
核偏在した細胞がみられる



クロマチン増量はみられず、核の反対側に赤く染まる線毛が認められる

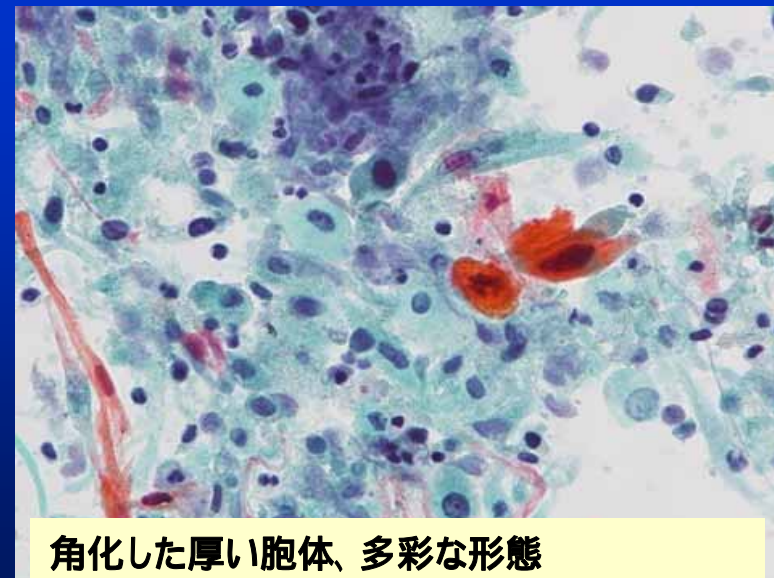
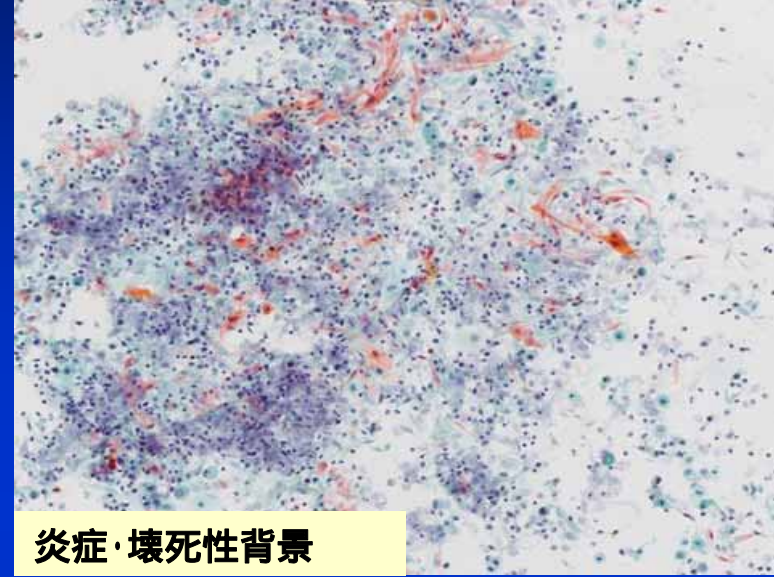
【問題4】 83歳, 男性, 気管支穿刺

解答: 3 小細胞癌 (正解率 95.2%)



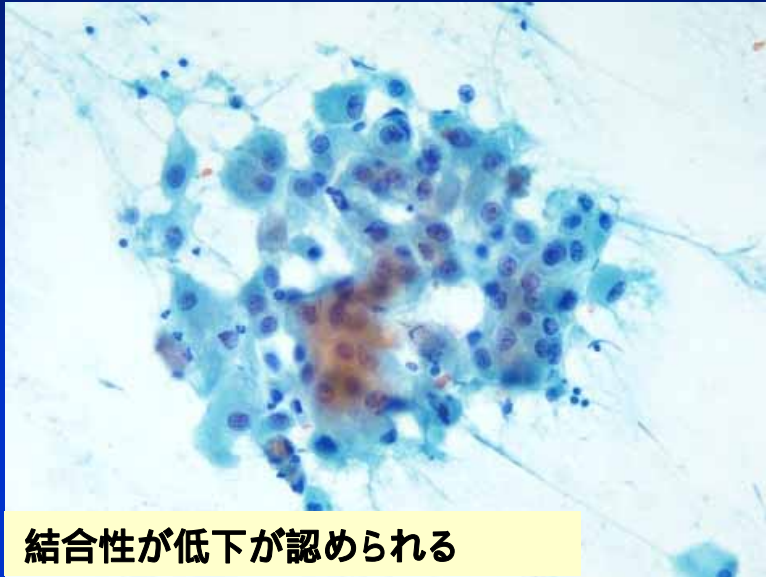
【問題5】 80歳, 男性, 自然尿

解答: 4 扁平上皮癌 (正解率97.6%)



【問題6】 69歳, 女性, 乳腺穿刺

解答: 2 アポクリン癌 (正解率 90.3%)



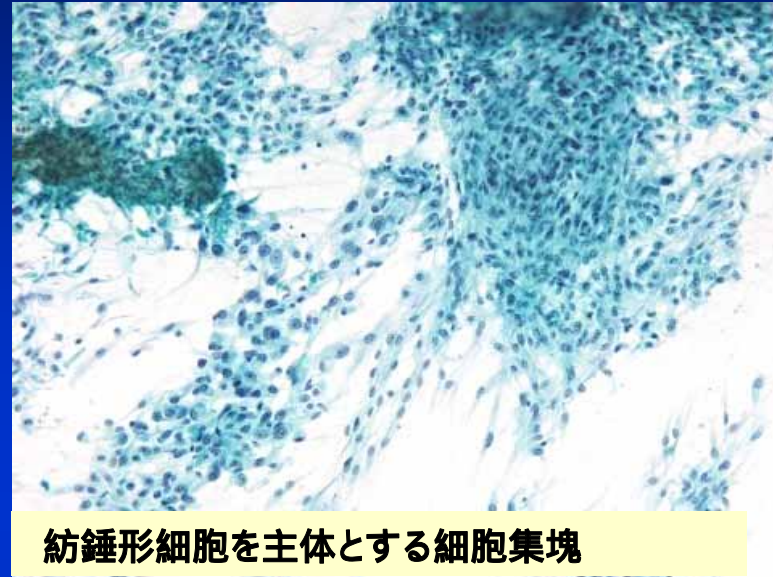
結合性が低下が認められる



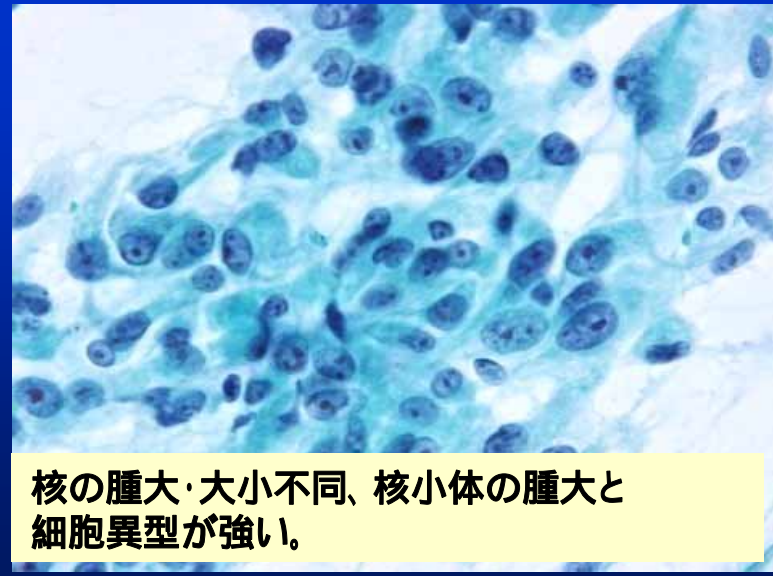
著明な核小体を有し、重積やpair cell状の配列を示す集塊でみられる。

【問題7】 78歳, 男性, 甲状腺穿刺

解答: 3 未分化癌 (正解率64.3%)



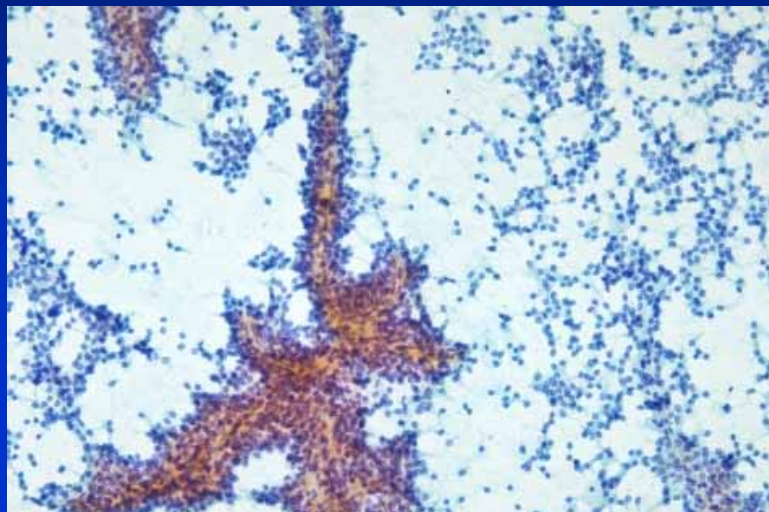
紡錘形細胞を主体とする細胞集塊



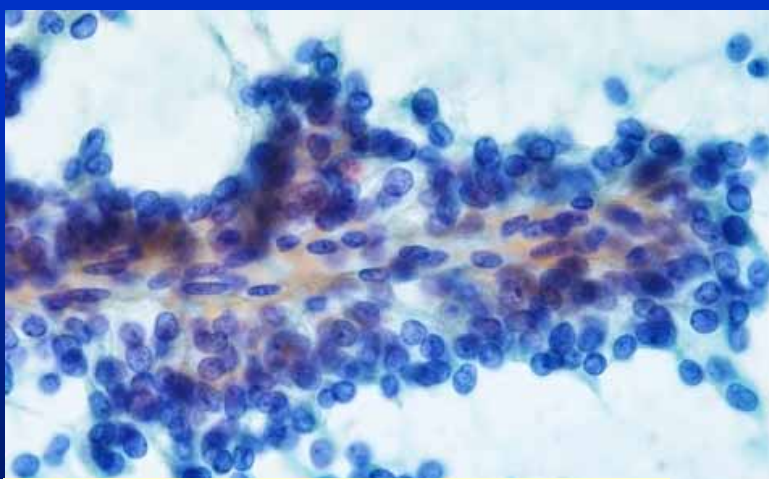
核の腫大・大小不同、核小体の腫大と細胞異型が強い。

【問題8】 22歳, 女性, 脾腫瘍擦印

解答: 1 solid-pseudopapillary tumor (正解率95.2%)



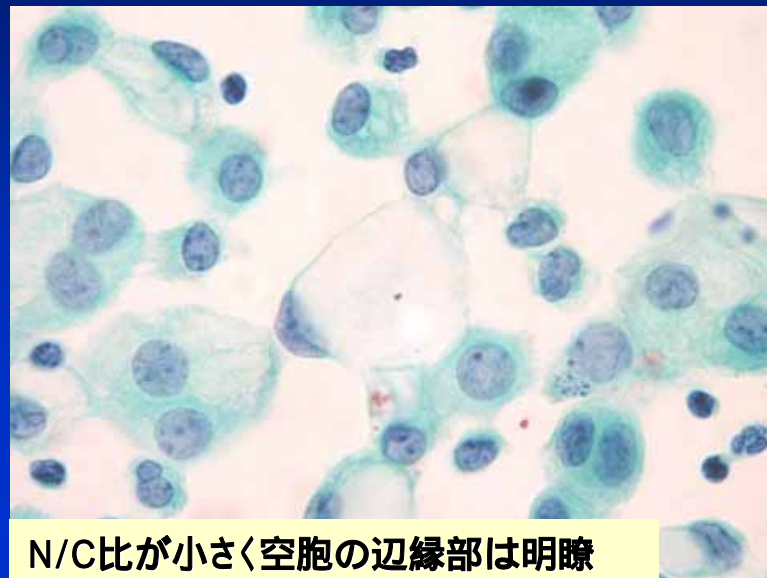
孤立散在性および、乳頭状集塊で見られる



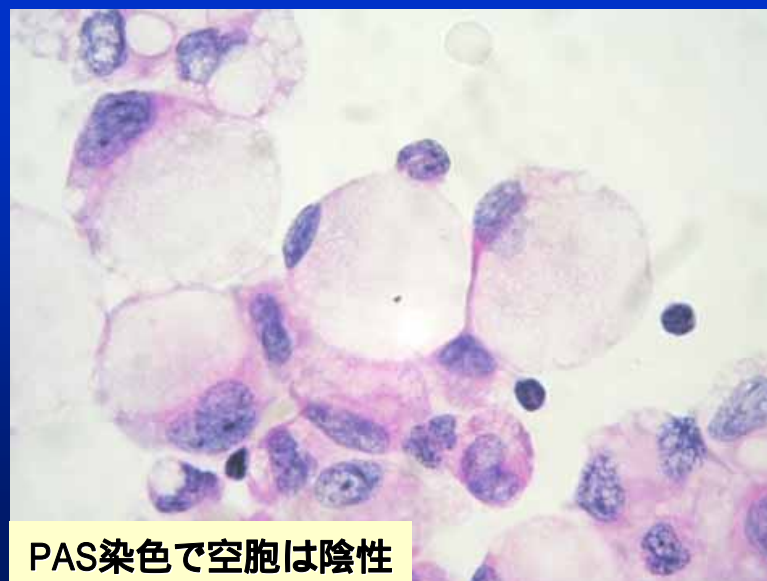
血管性間質を軸とする乳頭状集塊、クロマチンは細顆粒状で均等分布

【問題9】 72歳, 男性, 腹水

解答: 1 組織球 (正解率 100%)



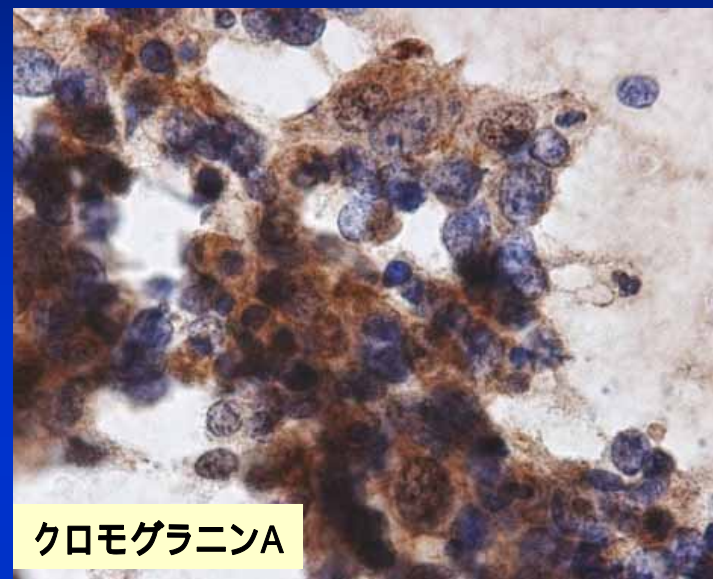
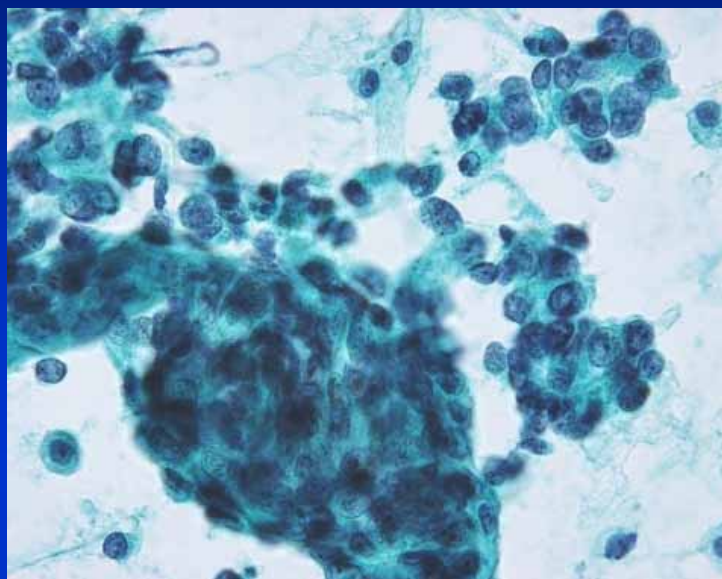
N/C比が小さく空胞の辺縁部は明瞭



PAS染色で空胞は陰性

【症例問題】 68歳，男性，

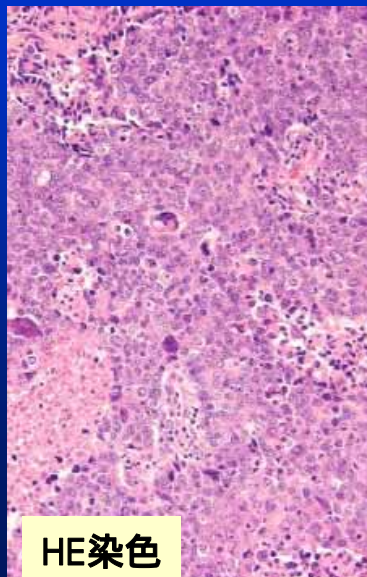
解答：4 大細胞神経内分泌癌（正解率96.2%）



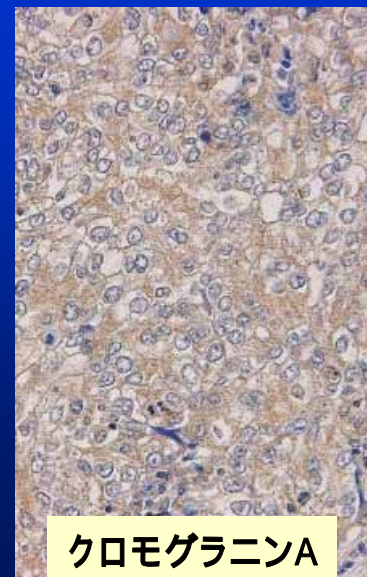
クロモグラニンA



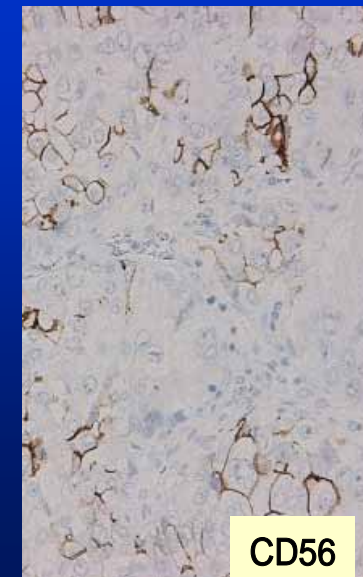
マクロ像



HE染色



クロモグラニンA



CD56

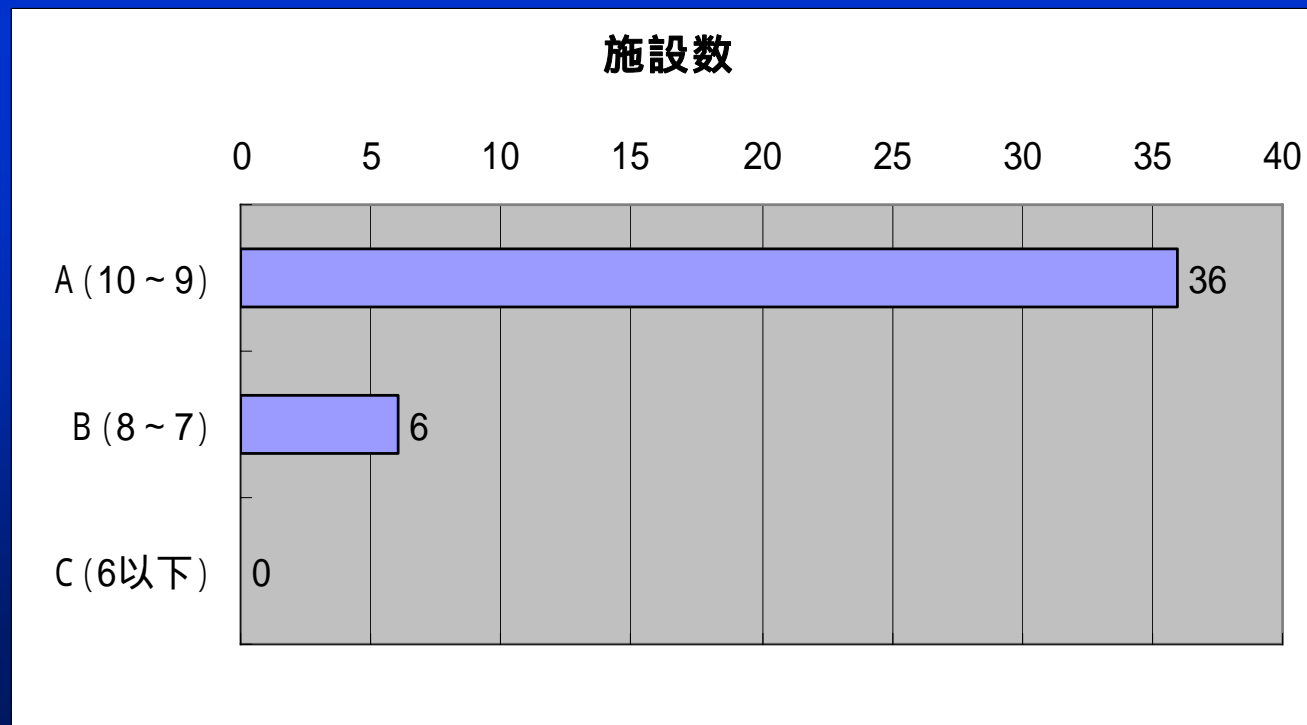
フォトサーベイ評価

同定問題・症例問題を各1点

A判定 : 9 ~ 10点

B判定 : 7 ~ 8点

C判定 : 6点以下



今後の目標

- 1) 実施内容の検討
- 2) 適切な症例の選択
- 3) フォトサーベイの質の向上

- 千臨技細胞検査研究班精度管理委員 -

北村真(東邦大学医療センター佐倉病院)

時田和也(JFE健康保険組合川鉄千葉病院)

有田茂実(千葉県こども病院)

滝川紀子(千葉大学病院)

村田行則(国立がんセンター東病院)

須藤一久(千葉県立佐原病院)

小山芳徳(帝京大学ちば総合医療センター)

高岡勝之(総合病院国保旭中央病院)

永澤友美(株江東微生物研究所千葉支所)